

令和 8 年度 「 情報 I 」 シラバス

群馬県立前橋清陵高等学校 通信制

必修・選択	単位数	期間	学科・コース等	学年
必修	2	通年	普通科・衛生看護科	第1～4年次
教科書(出版社)		教材等(学習書等)		
新編情報 I (東京書籍)		情報 I 学習書(NHK出版)		
開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート提出回数	
8(水S2 含む)	4	年2回	前期2回 後期 2 回(年間4回)	

○ 「 情報 I 」の学習目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育てる。

○ 学習内容の概要

現在は情報技術とデータ活用が前提とされる新たな時代といえます。新たな時代に必要な情報の知識・技能を学びます。

1 年間のレポートとスクーリングで、①情報社会で問題を解決する ②情報を伝える ③コンピュータを活用する ④データ活用する を学習します。

情報の知識とそのデータの活用の基礎を学習し身に付けます。

レポートは、科学的に見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用することを目標とし、スクーリングでは情報社会に主体的に参画するための資質・能力の習得を目的にしています。そのため、レポートで学習する内容とスクーリングで実施する内容は一致しません。

○ 情報科からのメッセージ・・・(学習の態度・心構え)

レポートでは、自らの課題を見つけてそれを解決していける能力を身に付けるように心がけましょう。この能力は、今後のSociety5.0に生きるために必要な能力です。

評価は、テストのみならず、実習への意欲や態度などを総合して評価します。意欲的に取り組む姿勢が大切です。

◎ 学習計画

・スクーリング PC実習も行うため、下記の学習内容と異なる場合もあります。

回	月	日	曜日	学習項目	学習の内容・ねらい	レポートとの対応
1	4	26	日	導入・心がまえ 1章 情報とメディアの特性・問題解決	レポート、テスト、スクーリングの説明 これからの授業に大事な内容を説明 情報の特性から、情報とは何か理解する さまざまなメディアの特性を理解する	スクーリングとレポートは対応していません。
2	6	7	日	1章 情報社会における権利と責任	個人情報や知的財産権を中心に学習する	
3	6	24	水	1章 情報で問題を解決する	(これまでの学習事項の復習および質問)	
4	8	23	日	2章 情報を伝える	コミュニケーション手段の変化・音と画像と色のデジタル表現・情報デザインの流れを中心に学習する	
5	10	18	日	3章 コンピュータを活用する データの活用とデータベース	アルゴリズム・プログラム・シミュレーション等を学習する	
6	11	11	水		(これまでの学習事項の復習および質問)	
7	11	29	日	4章 データを活用する	情報社会に流れるデータを読む 情報の“読み方”を学ぶ	
8	12	20	日	1年間のまとめ	情報社会に流れるデータを読む 散布図とヒストグラムから分析する	

・レポート提出締切

回	月	日	曜日
1	5	20	水
2	7	15	水
3	10	29	木
4	12	23	水

※2回分以上のレポートをまとめて提出したり、レポートの合否を確認する前に次のレポートを出したりすることはできません。

・テスト

	期間	出題内容など
前期	7月上旬頃～9月上旬 (前期レポートが完了後随時)	レポートNo.1～2を中心にその部分の教科書から出題します。教科書1章2章が中心です
後期	11月下旬頃～2月上旬 (後期レポートが完了後随時)	レポートNo.3～4を中心にその部分の教科書から出題します。教科書3章4章が中心です

○ レポートについて

- ・教科書や学習書を参考にすることで、大部分の問題の解答が作成できます。
- ・空欄など不備が多いと再提出になります。
- ・わからない問題等はそのままにせず、スクーリングで質問して解決しましょう

○ 評価について

(1)評価の観点および内容(評価規準)

評価の観点および内容(評価規準)	
知識・技能(技術)	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。
思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

(2)評価方法と評定

(a)評価方法

3つの観点について、観点ごとに3段階(A・B・C)で評価を行い、学習を支援します。

評価方法と評定

評価方法・観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度	具体的な評価ポイント
スクーリング	○	○	○	授業の取り組み状況
レポート	○	◎	◎	記述内容・取り組み等
テスト	◎	◎	○	観点ごとの点数

(b)評定

4回のレポートに合格し、試験を受け、スクーリングに4回以上出席した場合、テスト・レポートの結果等を基に5段階で評価します。評価「5」～「2」は単位の修得を示しています。「1」は履修認定のみです。